

準備

デジタルスチルカメラの準備


デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンバックの開閉は、マリンバック前部のガラス面のくもりの原因となります。

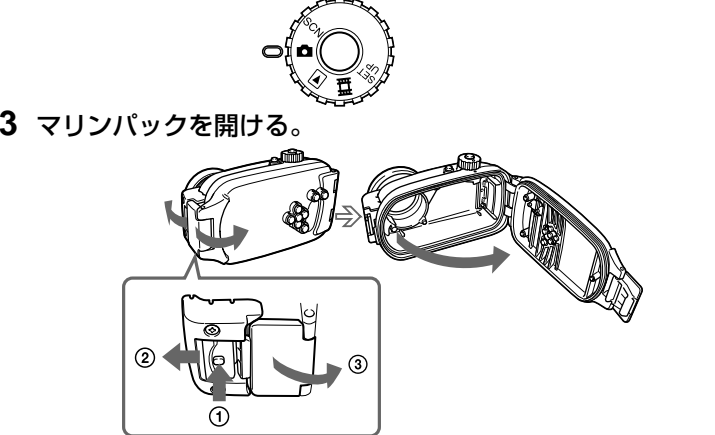
デジタルスチルカメラDSC-P9/P7/P2の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 リストストラップをはずす。
- 2 バッテリーを取り付ける。
十分に充電してあるバッテリーを取り付けてください。
- 3 “メモリースティック”を入れる。
- 4 デジタルスチルカメラの電源を入れる。
- 5 デジタルスチルカメラの液晶画面をONにする。
- 6 デジタルスチルカメラの各設定をオートにする。
- 7 デジタルスチルカメラのAFイルミネーターをOFFにする。
AFイルミネーターは使用できません。

デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認してください。

デジタルスチルカメラをマリンバックに取り付ける

- 1 デジタルスチルカメラの電源を切る。
- 2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」にする。



ロック解除ボタンを押しながら①、バックルを矢印②の方向にスライドさせて、③の方向にはずし、マリンバックのボディを開く。

ご注意
スぺーサーは、マリンバックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

4 マリンバックの準備をする。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

- ① 付属のOリングリムーバーを使って、Oリングを取りはずす。
- ② Oリングにグリスを塗る。
Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗ります。
- ③ 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意
・防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。
・砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体にキズをつけた
り、浸水の原因となることがあります。

- ④ フロントガラスにくもり止めリキッドを塗る。
フロントのガラス面の内側にくもり止めリキッドを3～4滴たらして、コットン、柔らかい布、ティッシュペーパーなどでクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

ご注意
・くもり止めリキッドは、マリンバックを開める直前に塗ることをおすすめします。

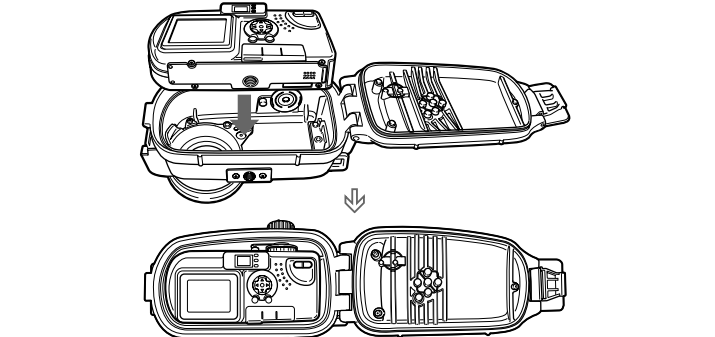
- ・くもり止めリキッドの量が少なかったり、塗ったあとにマリンバックを繰り返し開閉すると、マリンバックのフロントガラスがくもる原因となります。

5 マリンバックのモードダイヤルの位置をイラストのようにセットにする。



6 マリンバックに取り付ける。

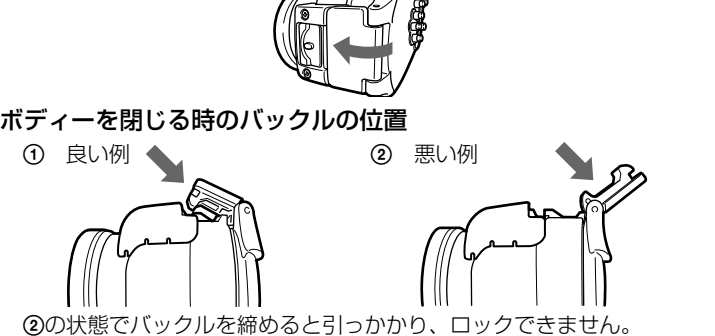
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。「ON」のままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

7 ボディーを閉じて、バックルを締める。

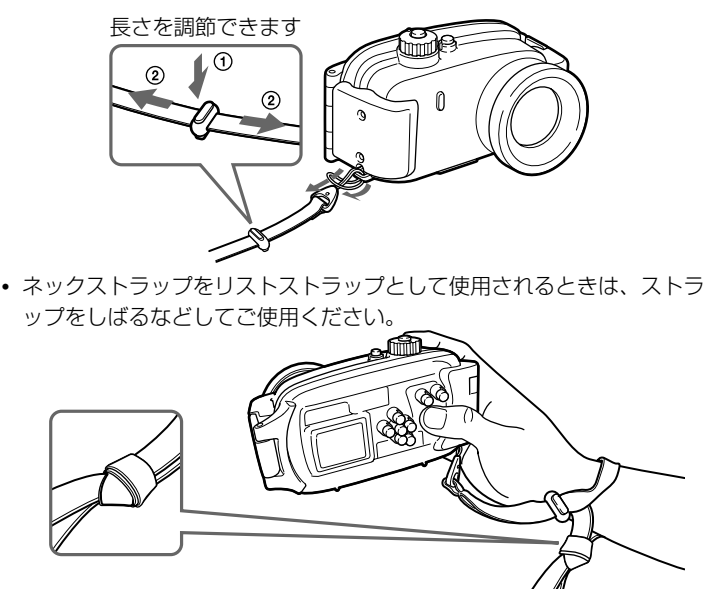
ボディをしっかりと押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。



ご注意
マリンバックのボディを閉じるとき、Oリングの表面とマリンバックの溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。上記のような異物を挟み込むと、浸水の原因となることがあります。

ネックストラップについて

- ・水中でネックストラップを首にかけて使用しないでください。
- ・ご使用前に付属のネックストラップを取り付けることをおすすめします。



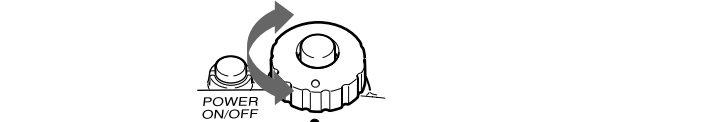
マリンバックを使う




撮影する

1 POWERスイッチを「ON」にする。





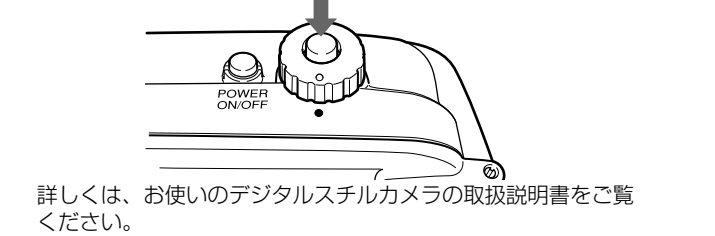
モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。



モードダイヤルを回すと、次の順にモードが切り換わります。
SET UP ⇄  ⇄  ⇄  ⇄ SCN
各モードについては液晶画面で確認してください。

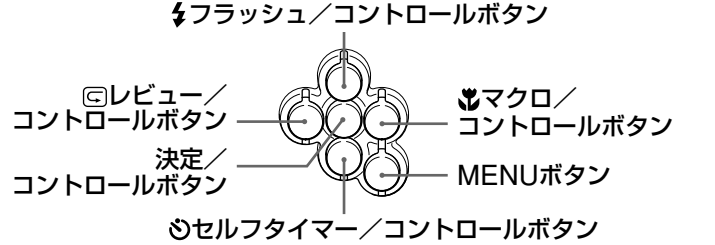
2 モードダイヤルを希望のモードに合わせ、シャッターボタンを押す。

液晶画面を見ながら撮影できます。
静止画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」にする。
動画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」にする。
場面に合わせて撮影をするとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「SCN」にし、コントロールボタンで設定する。
動画撮影時、音声記録することはできません。



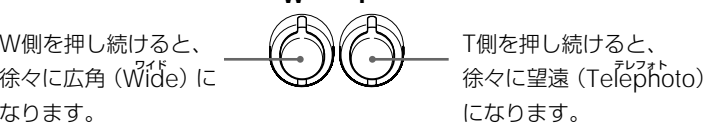
詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
デジタルスチルカメラを収納した状態で、モードダイヤルをから回ししないでください。故障の原因になります。



ズームする

ズームボタンを押します。



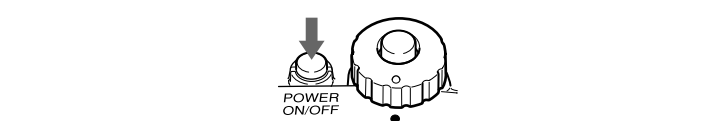
ご注意

- ・ファインダーによる撮影はできません。
- ・撮影一時停止状態で3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

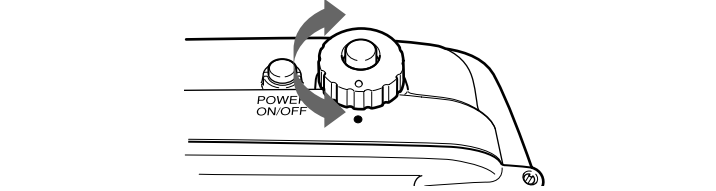
コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

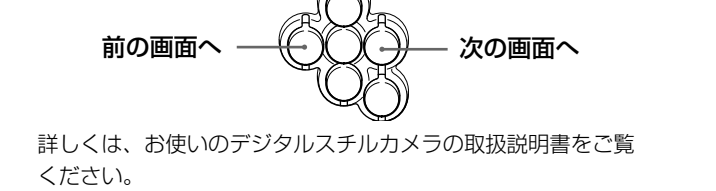
1 POWERスイッチを「ON」にする。



2 モードダイヤルを「」にする。



3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。

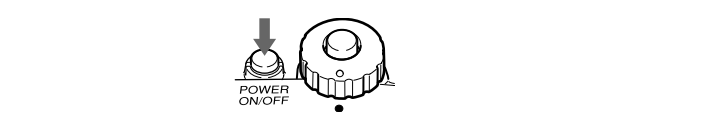


詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルスチルカメラを取りはずす

1 POWERスイッチを「OFF」にする。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。「ON」のままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



2 マリンバックのモードダイヤルの位置をイラストのようにセットする。



3 ロック解除ボタンを押しながらバックルをはずし、マリンバックのボディを開く。

4 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ご注意

マリンバックを開けるときは、マリンバックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴をふき取ってください。このとき、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がデジタルスチルカメラにかからないようにご注意ください。

ダイビングの前に

水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンバックに取り付け、船上や海岸などでのマリンバックの開閉は、できるだけ避けてください。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。
ご使用前に、マリンバックの前後のボディの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
水中で撮影すると、被写体の色が青みがかって見えることがあります。このような場合は、色の補正に別売りのカラーフィルターキットVF-MP5K（別売り）をお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。
太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライトHVL-ML20M（別売り）をお使いください。

各部の名前

